

令和5年度 学校経営要綱

コミュニティ・スクール春日市立天神山小学校
校長 月原 浩

I 学校経営の基本構想

1 コミュニティ・スクール天神山小学校の「共育目標」です。

『「たくましい体」「かしこい頭」「やさしい心」「食べる力」
のバランスがとれた健康力旺盛な子ども』を育てます。

全ての子どもたちの可能性を引き出す学校教育を目指します。そのために ICT を積極的に活用し、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の充実、『令和の日本型学校教育』の構築を目指します。より「体」「知」「心」「食」の調和的な育成をめざすために、コミュニティスクールとして学校、家庭、地域、児童が共育目標を共有し、4者が連携・協力して、具現化に努めます。

2 めざす子どもの姿です。(★学校、家庭、地域、児童で共有し、「浸透・徹底・定着」をめざします)

○たくましい体

- ・自分のめあてをもち、やり遂げる子ども
- ・規律ある集団行動ができる子ども

○かしこい頭

- ・自分の考えを書きことができる子ども
- ・自分の考えと比べながら友だちの考えを聴き、自分の考えを付加修正強化できる子ども
- ・自分の考えを表現できる子ども

○やさしい心

- ・4A運動(あいさつ・あんぜん・ありがとう・あとしまつ)を自らできる子ども
- ・自他のよさを認め合える子ども

○食べる力

- ・自らよりよい食生活をつくることのできる子ども

★到達目標は、学校、家庭、地域、児童評価が3.2以上をめざします。

自分らしく輝く子ども！

II 本年度の重点

1 重点目標です。

「仲間」とつくる素敵な1日 ～気づき・考え・行動する子ども～を育てます。

「気づき・考え・行動する」をより推進するために、1日1日を大切にし、だれかが困っていたり不安にしていたりしたら、学級・学年・学校・職員・家族・地域など周りの人「仲間」が「気づき・考え・行動する」天小にしていきたいと考えています。

2 重点目標達成のための方策です。

(1)「たくましい体」育成

ア 学校では、次のような取組を「徹底」します。

- ・健康タイムの活性化

イ 家庭では、次のような取組を進めます。

- ・早寝早起き朝ごはん

ウ 地域では、次のような取組を進めます。

- ・安心安全な登下校

(2)「かしこい頭」育成

ア 学校では、次のような取組を「徹底」します。

- ・自分の考えをつくり、友達と交流することで、自分の考えを付加・修正・強化します。
- ・自分の考えを明確に表現します。

- イ 家庭では、次のような取組を進めます。
 - ・「いつもの時間に」「いつもの場所で」家庭学習に取り組めるよう環境を整えます。
- ウ 地域では、次のような取組を進めます。
 - ・「地域の学びの場としての公民館」 学習の場を提供します。

(3)「やさしい心」育成

- ア 学校では、次のような取組を「徹底」します。
 - 積極的生徒指導の充実<気付き・考え・行動する>⇒ほめる指導を「徹底」します。**
 - 特に天神山小の4A運動**
 - ・「あいさつ」…様々な人に 「ありがとう」…感謝に 「あんぜん」…どう行動したらよいか 「あとしまつ」…みんなが気持ちよく生活するためには**

- イ 家庭では、次のような取組を進めます。
 - ・家庭内での「おはよう」「おやすみ」等の挨拶の習慣化に努めます。
 - ・「ありがとう」が溢れる家庭 ・登下校の「あんぜん」についての会話
 - ・「あとしまつ」の習慣化
- ウ 地域では、次のような取組を進めます。
 - ・登下校時には、子どもへの一言投げかけ「あいさつ」を行います。
 - ・「ありがとう」が溢れる地域
 - ・子ども自らが「あんぜん」に登下校できる声かけや見守り
 - ・「あとしまつ」の機会がある公民館

(4)「食べる力」育成

- ア 学校では、次のような取組を「徹底」します。
 - ・食のマナーの「徹底」を図り、自他の食生活の改善に取り組みます。
 - ・お弁当の日を設け、バランスの良い食生活の獲得を目指します。
- イ 家庭では、次の取組を推進します。
 - ・朝食から始める食育（栄養バランス・団らん）
- ウ 地域では、次の取組を推進します。
 - ・世代をこえて楽しむ地域の団らん

3 経営の重点です。

学校・家庭・地域・児童が連携・協働し、チーム学校となって、取組が「浸透・徹底・定着」する学校づくりを推進します。

4 経営の重点の推進のための方策です。

(1)「協働的組織運営」の推進

- ①生徒指導委員会等を中心に、問題行動・いじめ・不登校等への対応を迅速に組織的に行います。
- ②特別支援教育校内委員会を開催し、教育方針を決め、組織的・機動的な指導に生かします。
- ③専科・積極的な交換授業を通して、多くの教師の目で子どもを育てていきます。
- ④PDCA サイクルをもとに定期的に子どもの育ちを評価し、「浸透・徹底・定着」に努めます。
- ⑤学年による校務分掌組織を編成し、効率性、機能性、効果性の点から見直しと改善に努めます。

(2)「研修活動」の推進

- ①主題研修と同様に一般研修も充実させ、子どもの表現力の育成に努めます。
- ②不祥事防止研修を充実させるとともに、ICT の活用、いじめ防止教育、人権教育、特別支援教育等の今日的課題に関する研修に取り組み、「子どもを守る教育」を推進します。
- ③若年教員を対象とした「校内OJT研修」を実施し、指導力、経営力の向上に努めます。

(3)コミュニティスクールの一層の推進

- ①地域コーディネーターを中核とし、学校・家庭・地域・児童が連携・協力した「協働」の取組を推進します。
- ②学校関係者評価を実施・公表し、学校改善に努めます。

5 不祥事防止の取組の推進

- (1)「飲酒運転」「体罰」「わいせつ行為等」「個人情報紛失等」「薬物乱用」等の不祥事を職場から出さない強い意志を持ち、日常的な取り組みを推進します。
 - 日常的な啓発 ○ 「飲酒運転」「個人情報紛失等」の対策のためのルール策定
- (2)不祥事防止のための研修を実施し、職員の意識の高揚をはかる。